

年 間 授 業 計 画

足立東高等学校 令和5年度（2学年用） 教科 総合 科目 スタディガイダンスⅡ

教科：総合 科目：スタディガイダンスⅡ 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：江原、高士）（2組：松村、塚本）（3組：稲垣、吉田）（4組：高安、堀切）（5組：鮎川、北浦）（6組：金子、松永）

使用教科書：（ベネッセコーポレーション「マナトレ」基礎（標準）編コースの国語、数学、英語3教科）

教科 総合

の目標：

【知識及び技能】

義務教育段階の学習内容を高等学校段階での学習に必要な項目に絞り、より効率的に学習ができる配列を工夫してある「マナトレ」を活用して国語・数学・英語の学習指導を行うことにより、キャリアガイダンスによる3カ年を見通した系統的進路指導を学習面から補強し、進路決定率の向上を図る。

【思考力、判断力、表現力等】

生徒の「わかった」、「できた」という喜びを積み上げ、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という学習意欲を喚起し、自己肯定感を育む。

【学びに向かう力、人間性等】

確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広げ、将来の展望を見出す生徒を育成する。

科目 スタディガイダンスⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
義務教育段階の学習内容を高等学校段階での学習に必要な項目に絞り、より効率的に学習ができる配列を工夫してある「マナトレ」を活用して国語・数学・英語の学習指導を行うことにより、キャリアガイダンスによる3カ年を見通した系統的進路指導を学習面から補強し、進路決定率の向上を図る。	生徒の「わかった」、「できた」という喜びを積み上げ、「次もやってみたい」、「もっと学びたい」という学習意欲を喚起し、自己肯定感を育む。	確かな基礎学力を身に付けることで、進路選択の幅を広げ、将来の展望を見出す生徒を育成する。

指導項目	指導内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	(1) 国語（59回×10分） 「マナトレ」国語 基礎編 【10級】日本語の基礎を学ぼう 【9級】語いを豊かにしよう 【8級】語いを豊かにしよう 【7級】語いを豊かにしよう (2) 数学（58回×10分） 「マナトレ」数学 基礎編 【10級】四則計算（加法・減法） 【9級】四則計算（乗法・除法） 【8級】小数 【7級】分数 (3) 英語（58回×10分） 「マナトレ」英語 標準編 【10級】アルファベット・単語 【9級】一般動詞 (他動詞・現在／肯定) 【8級】一般動詞 (他動詞・現在／否定・疑問) 【7級】一般動詞 (他動詞・過去／肯定)	ベネッセコーポレーション「マナトレ」 基礎（標準）編コース 国語、数学、英 語の実施 各教科の各級は10分で実施するSTEP1からSTEP9までの9枚とまとめ プリント1枚の10枚で構成されてお り、これを1日1プリント実施し、国語 10回、数学10回、英語10回、国語 10回・・・のように繰り返し実施す る。 プリント終了後、生徒は自己採点した後 に、プリントを生徒用バインダーにプ リントを挟む。学級担任は生徒用バ インダーを回収し、各生徒の学習の進行状況 を点検把握する。 学級担任は学習の定着状況が十分でない 生徒について教科担当に報告する。 苦手領域については、各教科において計 画的に克服に取り組む。 基礎力診断テスト実施前に教科ごとに6 回、事前課題に取り組む時間を組み入れ る。	【知識・技能】 マナトレの内容を理解し、学習内容が定着したか。 【思考・判断・表現】 自己の課題を見つけ、その解決に取り組むとともに、 他者と協力することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に出席し、マナトレに取り組み、自己の学習方法 を調整しながら、粘り強く取り組んだか。				13 (65)
	2 学 期			○	○	○	14 (70)
3 学 期						8 (40)	
						合計 35 (175)	